

西伊豆健育会病院

松田 美穂子(看護部 / 看護師)

功 績 2026年度静岡県看護協会主催研修「感染対策における看護師の役割と実践」において、昨年度の受講生としての実践報告が優秀事例として紹介されることが決定した功績。

推薦者氏名 看護部長 大村啓子

推薦理由 当該職員は、入職後の期間はまだ1年5カ月と長くはないが、その間に仲間に溶け込み、一人ひとりの患者さんときちんと向き合い、その人にとって、当院のチームで可能な最善な看護を考え、提案できている。現状に流されず、常に物事の最良の在り方を模索し、発信する姿勢は優れたものであり、理事長賞に推薦したい。

内 容

静岡県看護協会で開催されている研修「感染対策における看護師の役割と実践」は、院内の感染防止リンクナースを対象とした専門研修であり、当院からも毎年研修生を派遣している。今回、昨年度受講者による実践報告が高く評価され、当院として初めて今年度研修における「優良実践報告事例」として紹介されることとなった。

報告内容は、院内における針捨てBOX運用の見直しである。まず、廃棄ルールが十分に遵守されていない現状に着目し、職員への再周知や取り扱い方法の点検を実施した。さらに、感染リスク低減のみならず、コスト面にも配慮し、BOXの廃棄方法や製品自体を再検討することで、安全性と効率性の両立を図った。

当院は賀茂圏域の西伊豆地域における唯一の急性期病院として、院内のみならず地域の介護施設や関係機関とも連携しながら、包括的な感染対策を担っている。地域全体の医療・介護提供体制を維持する役割が求められる中、日頃から適正な感染対策を継続して実践している点も高く評価された。

研修を通じ、ICTと病棟現場をつなぐリンクナースの重要性を改めて認識し、感染予防は「見えない敵」と継続的に向き合うものであり、ルール遵守と日々の意識付けが極めて重要であることを学んだ。現在はその学びを現場へ還元し、職員への働きかけや改善活動を主体的に行うなど、リーダーシップを発揮している。